

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業用)

事務事業名		部課コード		110600		2998-9366			
事業コード	所沢駅西口地区まちづくり事業					担当部課	所沢駅西口区画整理事務所		
110601						グループ			
開始年度	平成13	年度		終了年度	年度				
事業の概要	事業の種類	土地利用	土木建設	建築	補助	単独	単年度	複数年度	
	根拠法令	都市計画法、土地区画整理法、都市再開発法、所沢市街づくり条例等							
	分野別計画・指針	所沢市都市再開発の方針、所沢市街づくり基本方針、所沢駅周辺まちづくり基本構想等							
	関連・類似事業	所沢駅西口土地区画整理事業							
	総合計画の体系	章	街づくり	節	市街地整備	基本方針	所沢駅周辺のにぎわいのある街づくりの推進		
	事業開始の背景・目的(どのような経緯で、どのような効果を目指して実施しているのか)	平成12年6月に西武鉄道所沢車両工場が閉鎖され、所沢駅西口至近に大規模な未利用地が発生した。この地区は、本市の将来の発展にとって重要な場所であることから、同跡地を含む所沢駅西口地区において、市の表玄関にふさわしい計画的な土地利用を目指した街づくりとともに、都市基盤の整備による都市防災性の向上や良好な住環境への改善に取り組む必要性が生じた。							
事業の内容	事業の内容・実施方法(最終的にどのような状態を生み出そうとしているのか、そのためにどのような方法・手段を用いるのか)								
	西武鉄道車両工場跡地を含む当地区は、市の表玄関にふさわしい計画的な土地利用を推進し、都市基盤の整備による都市防災性の向上や良好な住環境への改善を図る。 そのためには、地元住民や権利者をはじめとした地域の意向を把握しつつ、合意形成を図り、所沢駅西口土地区画整理事業の早期完了を目指すとともに所沢駅西口土地区画整理事業と一体的施行により行う所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業についても、早期完了を目指す。また、所沢駅西口土地区画整理事業に関連して、所沢駅ふれあい通り線の整備を進める。								
	事業開始後の環境変化(人口や需要見込み等の社会経済情勢の変化、自然環境の変化等)とそれに対する対応								
	平成13年の事業開始当初は、市施行の土地区画整理事業による事業計画案を作成したが、車両工場跡地の土地利用が未定など、事業に対する熱度が低く、地区全体の合意形成が難しい状況であった。 現在、元町北地区の再開発事業の完了(平成21年度)及び所沢村山線の一部開通(平成22年度)、東日本大震災による安心・安全な街づくりの必要性など、地区を取り巻く環境に変化が生じたこと等により、権利者や地元住民のまちづくりへの機運が高まっている。なお、現時点での、本事業に起因する人口増や社会情勢の変化はないが、事業完了後においては、人口増や来街者による社会経済情勢の変化が十分に見込まれる。								
	事業費概要(千円)	事業開始時の総事業費予定額		事業の進捗率		平成28年度の事業内容及び平成29年度以降に予定している事業内容の概要			
	事業費累計(平成27年度まで)		-		-				
平成28年度実施計画における事業費	平成28年度		304,811		-				
	平成29年度		977,578		-				
	平成30年度		1,055,778		-				
	現時点での総事業費予定額		平成		年度終了予定				
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)			
	予算現額			79,184	61,925	304,811			
	決算(見込み含む)			78,420	60,856				
	(非常勤特別職員)	(臨時的任用職員)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。		
	正規職員人件費	4.90 人	42,733	6.54 人	56,636				
	事業費合計			121,153	117,492				
	財源内訳	一般財源			121,153	117,492	304,811		
		国・県支出金			0	0			
その他()				0	0				
成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標		
	成果指標	事業化に向けた進捗状況	事業化までに必要となる各段階の手続き等の事業進捗を図る		目標値	事業計画案の作成 事業計画認可・決定	(再)組合設立認可・事業計画認可	事業化	
	目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	#VALUE!	#VALUE!	どちらかをチェックしてください	
	成果指標設定理由・目標値の考え方	最終的には、権利者等の理解を得ながら市街地開発事業をはじめ、所沢駅ふれあい通り線の整備や所沢駅周辺の回遊性の確保等が目標であるが、それぞれの事業着手までは権利者等の合意形成などによる様々な手続きがあることから、当面は市街地再開発事業の事業化を将来目標とし、各年度の進捗状況を成果目標とした。							
評価	事業計画見直しの必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要あり		理由及び今後の方向性					
		<input type="checkbox"/> 見直しの必要なし		所沢駅周辺のまちづくりの活性化・ブランドの推進について意見を伺う連絡協議会を設置したことから、今後、具体的にハード・ソフト両面の事業を進める必要がある。					
	総事業費見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要あり (<input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了)		<input type="checkbox"/> 見直しの必要なし					
評価日	H28.7.29		評価者職氏名		所沢駅西口区画整理事務所長 工藤 順一				
	環境影響	有益な環境影響	5-2安心な都市空間の整備	5-3オープンスペースの創造	有害な環境影響を及ぼす原因活動	市街地整備	規制を受ける環境法令等	有	
						緊急事態	有		